

説明内容			達成目標（※前頁参照）																		
			気象データ理解力					ビジネス発想力					IT活用力								
			1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5				
済 第3回 9日 開催	基礎知識	気象データの全体像 + 気象データの入手方法	○	○																	
	基礎知識	気象庁情報カタログ + GRIB2形式 + 最新のトピックスの紹介	○	○	○											○					
	予報	ガイダンスデータ (*4)・降水15時間予報データの概要・特徴	○																		
		ガイダンスデータ・降水15時間予報データのデータ形式 (GRIB2他)		○	○												○				
	観測	ナウキャストデータの概要・特徴*5	○																		
		ナウキャストデータの形式 (GRIB2)		○	○												○				
ビジネス事例	旅のミライへ！日本の四季を観光資源に、気象データと観光予報プラットフォームの可能性				○					○	○	○						○			
ビジネス事例	食品ロス・廃棄を削減するデータ流通基盤				○					○	○	○						○			
第4回 1月30日 開催 予定	基礎知識	気象データの全体像 + 気象データの入手方法	○	○																	
	基礎知識	気象庁情報カタログ + GRIB2形式 + 最新のトピックスの紹介	○	○	○											○					
	観測	気象衛星の基礎	○	○	○											○					
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報の概要・特徴	○																		
		トゥルーカラー再現画像及び高分解能雲情報のデータ形式 (GRIB2他)		○	○												○				
		推計気象分布の概要・特徴	○																		
		推計気象分布の形式 (GRIB2)		○	○											○					
ビジネス事例	気象データのEMS分野での利活用例 -JST CREST HARPSの取り組み-				○					○	○	○									
ビジネス事例	気象データを活用したGIS関連のビジネス事例				○					○	○	○									
会員 限定	アメダス気象データ分析チャレンジ！CSV版（1日版、3日版）		○	○	○	○				○	○	○				○	○				
	メッシュ気象データ分析チャレンジ！GRIB版		○	○	○	○						○				○	○				
	確率予報データ分析チャレンジ！XML版 *6		○	○	○						○	○	○			○	○				
ビジネスマッチングイベント																		○	○		

※地震・津波、火山に関する各種情報の概要、種類、入手方法についてもセミナー内で紹介することを検討しています。

【用語解説】

- *1 アメダス：地域気象観測システム（Automated Meteorological Data Acquisition System : AMeDAS）の略称。
雨、風、雪などの気象状況を時間的、地域的に細かく監視するために、降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的に行っている。
- *2 BUFR：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進（バイナリ）データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。アメダスなどの地点ごとの観測データの提供に利用している。
- *3 GRIB2：世界気象機関(WMO)が規定する国際的な気象通報式で、二進（バイナリ）データとしてファイルフォーマット化して伝送する形式。数値予報モデルデータ、ナウキャストなどのメッシュデータの提供に利用している。
- *4 ガイダンス：数値予報モデルの結果を、実際の予報を行うにあたって利用しやすい形に置き換えたデータ。
- *5 ナウキャスト：気象レーダー等で観測された過去の降水域の動きと現在の降水の分布等を元に、目先1時間の降水の分布や、雷の可能性等を1km解像度（高解像度降水ナウキャストは250m解像度、30分先まで）で予想したデータ。
- *6 XML：気象庁で利用しているデータ提供形式の一つで、文章化された情報を中心に利用されている。機械判読に適した形式となっている。